愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	芝 純平	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習は、ストレングス＆コンディショニングまたトレーニング科学の研究および実践を通じて論理的思考、批判的思考、パソコンスキルを習得することを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	グループワーク、参加者同士でのディスカッションを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、スケジュールの確認	ゼミの運営方法、スケジュールを確認する。	□
第2回	ワードの使い方	ワードの基本操作について学ぶ。	□
第3回	エクセルの使い方	エクセルの基本操作について学ぶ。	□
第4回	パワーポイントの使い方	パワーポイントの基本操作について学ぶ。	□
第5回	論文の探し方	Google Scholar 、J-Stageなどを用いて文献検索する方法を学ぶ。	□
第6回	論文の読み方と整理の仕方	論文の構成や種類等について学ぶ。また、収集した論文の整理方法について学ぶ。	□
第7回	ジャンプ測定1	スクワットジャンプの測定を行う。	□
第8回	ジャンプ測定2	カウンタームーブメントジャンプの測定を行う。	□
第9回	ジャンプ測定3	リバウンドジャンプの測定を行う。	□
第10回	データ分析用Excelファイルの作成	主にジャンプ測定のデータを用いてデータ分析用Excelファイルを作成する。	□
第11回	プレゼンテーションの方法	プレゼンテーションの方法について学ぶ。	□
第12回	ジャンプ測定の確認1	後期に向けて、ジャンプ測定の説明等の練習を行う。	□
第13回	ジャンプ測定の確認2	後期に向けて、ジャンプ測定の説明等の練習を行う。	□
第14回	ジャンプ測定の確認3	後期に向けて、ジャンプ測定の説明等の練習を行う。	□
第15回	ジャンプ測定についての発表	ジャンプ測定について口頭発表を行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各テーマに関する内容について調べ予習する（2時間程度）。復習として、授業で行った基本操作などを一人で行う（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

口頭発表等を聞きディスカッションを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	パソコンの基本操作を習得できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	データを読み取り課題を明確化できる。

主体性	◆ 2019全学共通DP3	自分の役割について理解し、他者と協働して課題を解決できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

口頭発表50%、スライド内容50%。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	国立スポーツ科学センター. フィットネ・チェック マニュアル. https://www.jpnsport.go.jp/jiss/fc/tabid/1142/Default.aspx	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		